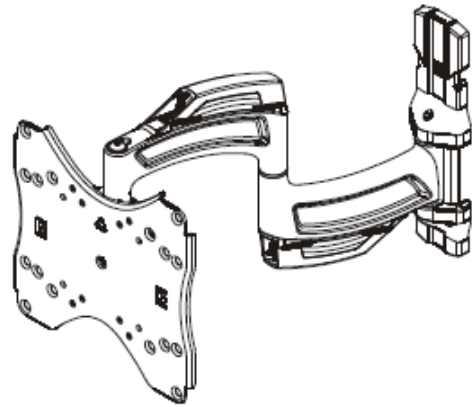


デュアルスウィングアウトアーム式・大型フラットディスプレイ壁付け金具 型番 TS-218SU

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまことにありがとうございます。

ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みの上正しくお使いください。

とくに「安全上のご注意」は必ずお読みください。お読みになったあとは、いつでも取り出せる様に保管してください。



必ずお守りください

壁掛け設置には特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付工事業者へご依頼ください。
お客様による工事は一切行わないでください。

販売店様、工事店様へ

- お客様の安全のため、取り付け場所の強度には、少なくともディスプレイと本製品を合わせた5倍以上の重量に耐える場所に設計施工を行ってください。
- 作業は必ず2人以上で行ってください。
- 取扱説明書で指定しているネジや固定金具は説明書通りの数量を確実に取り付けてください。

安全上のご注意**ご使用の前に必ずお読みください****⚠ 警告と注意！**

警告：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

警告：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ 警告

作業は必ず2人以上で行ってください。不十分な人員での作業はけがや破損の原因となります。

⚠ 警告

部品を改造しないでください。また破損した部品は使用しないでください。落下などの事故やけがの原因となります。

⚠ 警告

取付けているネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、金具やディスプレイの落下につながり非常に危険です。

⚠ 警告

ボルトやネジ類は指定の位置に指定の本数を確実に取り付けてください。また壁に取り付ける固定ネジは付属しておりません。壁の材質や構造に適合したネジをご使用ください。

⚠ 警告

開閉するドアや家具の扉にぶつかる場所には設置しないでください。また振動の多い場所や、大きな力が加わる場所には設置しないでください。落下や破損、けがの原因となります。

⚠ 警告

作業中ピンチポイントに注意してください、指をはさまないようにご注意ください。

⚠ 警告

ディスプレイの取付作業を行うとき以外、ラッチが確実にディスプレイを固定しているようにご確認ください。また、ケーブルの取付作業を行うときは、必ずラッチでディスプレイを固定してください。

⚠ 注意

運送による破損の可能性があるので、取付作業を行う前、確実に商品をチェックしてください。

設置の前に

■設置場所について



- 壁面は総合荷重に長期間十分に耐え、地震や予想される振動、外力にも十分耐え得る施工を行ってください。
- 設置の前に、壁掛けユニットとディスプレイの質量を確認のうえ、壁面強度を確認してください。強度不足の場合は十分な補強を行ってください。
- 荷重は必ず柱や梁などの堅牢な構造材で受けるように取り付けてください。
- 強度が不十分な壁面への直接取り付けは行わないでください。幅木や受け木天井吊り金具には取り付けないでください。
- コンクリートの壁に取り付ける場合は、総合荷重に十分に耐えるアンカー類を使用してください。

誤った取り付けや強度が不十分な取り付けを行った場合、ディスプレイが落下して重大な事故やけがの原因となりますので、十分にご注意ください。

■設置方法

各種の壁に対応したアンカー類やネジ等は、十分な強度を持ったものをご用意ください。

本取扱説明書の安全上のご注意の設置場所についてよくお読みのうえで、ディスプレイの壁面への適切な設置場所を決めて下さい。

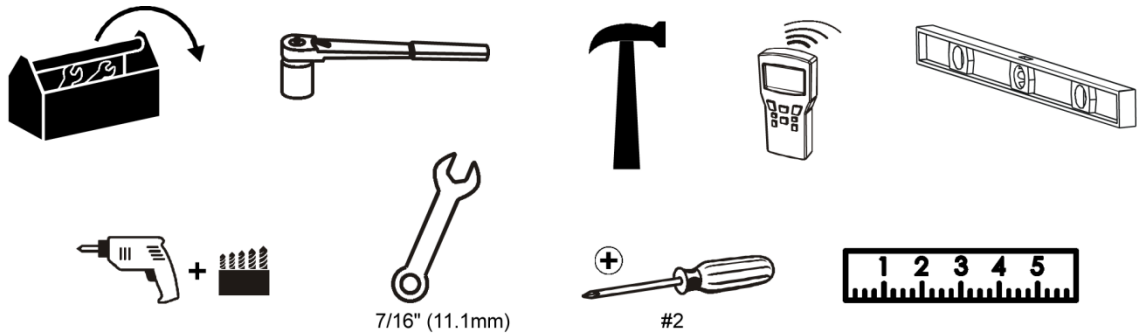
図に従って壁面にアンカー処理、下穴処理等を必要に応じて行ってください。

壁面の強度やネジの保持強度が十分確保できるかを確認してください。

本製品を壁面にしっかりと取付けてください。

指定された取付穴に、決められた個数の固定ビスを必ず取り付けてください。

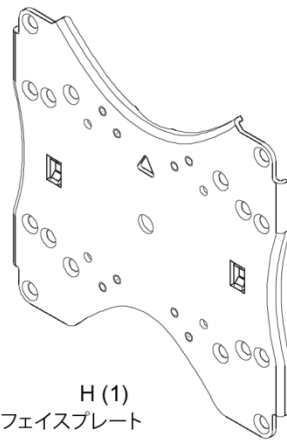
■必要な工具



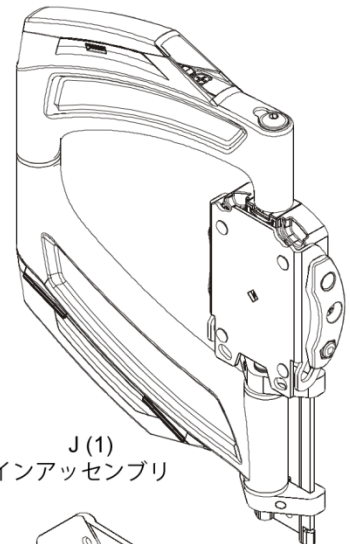
■パーツ



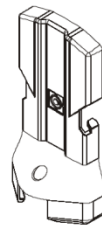
"A"	A1 (4) M4x12mm	A2 (4) M4x16mm	A3 (4) M4x25mm
"B"	B1 (4) M5x12mm	B2 (4) M5x16mm	B3 (4) M5x25mm
"C"	C1 (4) M6x12mm	C2 (4) M6x16mm	C3 (4) M6x25mm
"D"	D1 (4) M8x12mm	D2 (4) M8x20mm	D3 (4) M8x30mm
	D4 (1) M5		
"E"	E1 (4) ユニバーサルワッシャー	E2 (8) 1/4"	E3 (4) M8



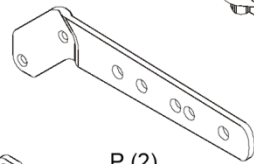
H (1)
フェイスプレート



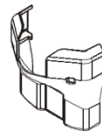
J (1)
メインアッセンブリ



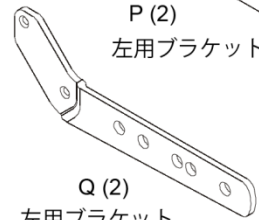
K (1)
トップカバー



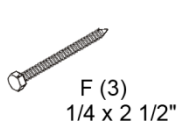
P (2)
左用ブラケット



L (1)
ボトムカバー



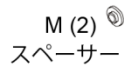
Q (2)
左用ブラケット



F (3)
1/4 x 2 1/2"



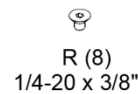
G (3)
コンクリートアンカー



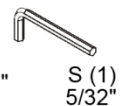
M (2)
スペーサー



N (2)
#10-24



R (8)
1/4-20 x 3/8"



S (1)
5/32"

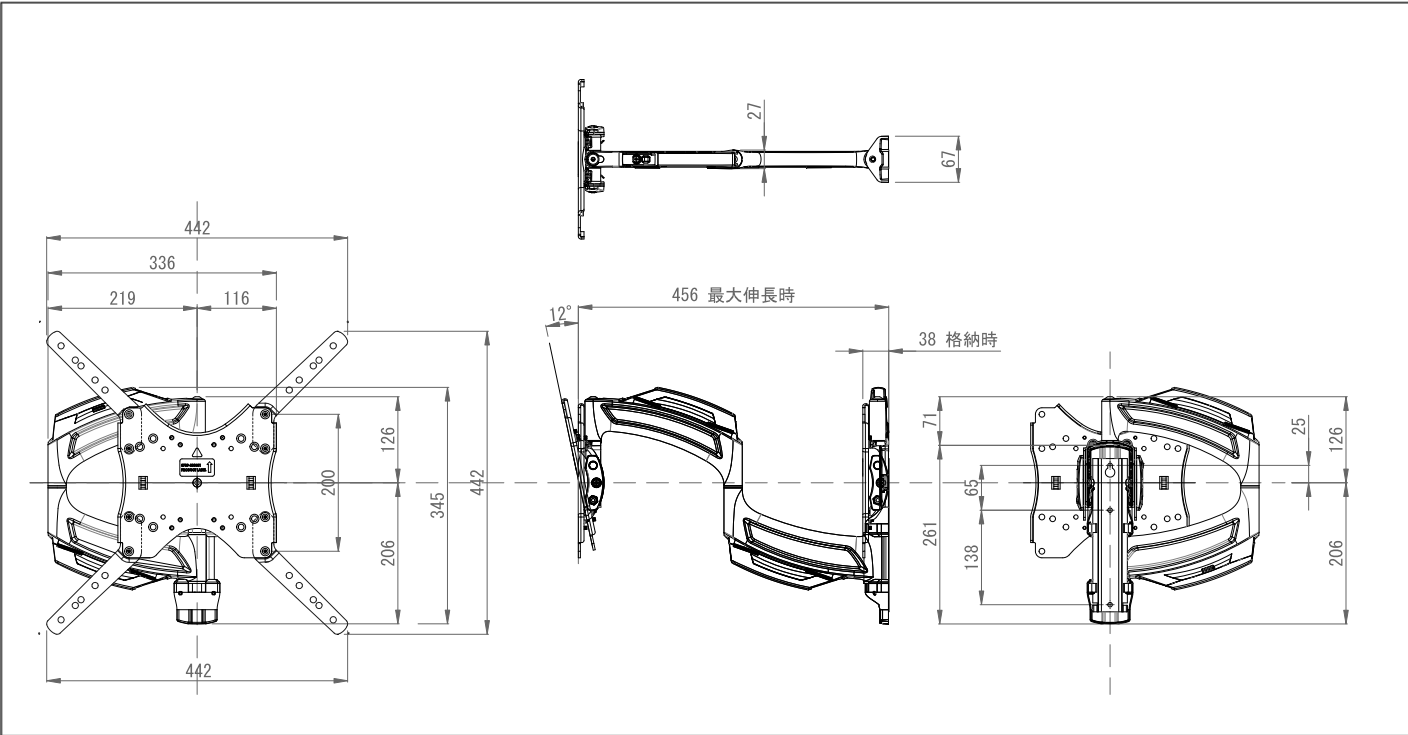


T (1)
3/16"



U (1)
1/8"

■寸法 (単位mm)



■本体重量 4.7 kg

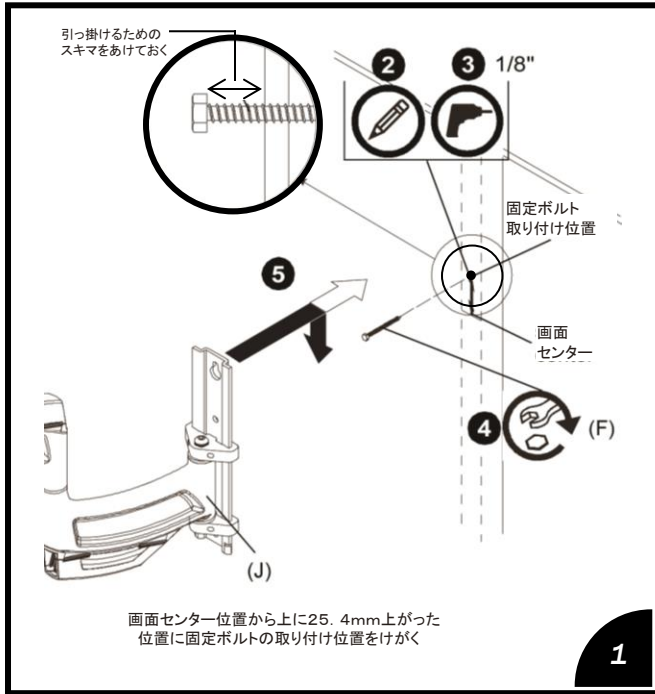
■取付重量 15.9 kg

■別売りオプション

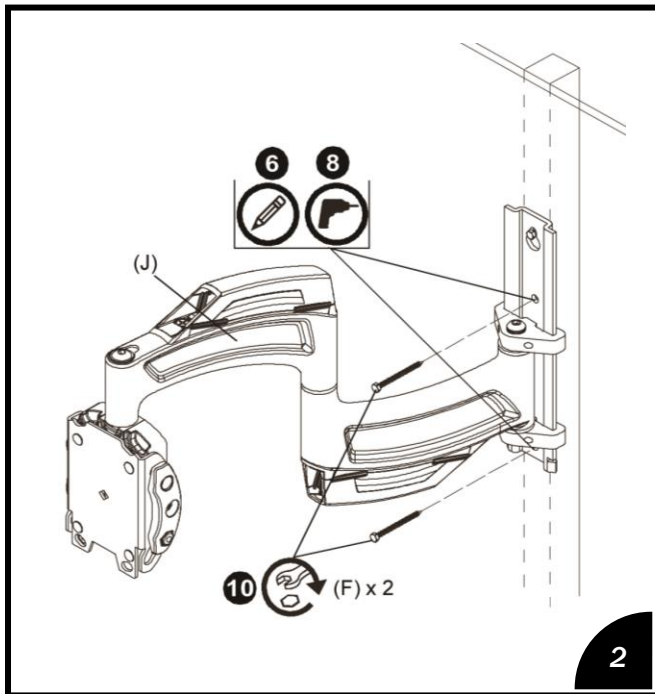
・スイングアーム用中間シェルフ : 型番 TA100
(45mm幅の中間シェルフ)

・カメラシェルフ : 型番 TA250
(300mm幅のカメラシェルフ)

◆メインアセンブリーを壁(補強など)に取り付ける。
ディスプレイのセンター位置から上に 25.4mm上がった位置に
固定ボルト取り付け用穴が合うようにしてください。

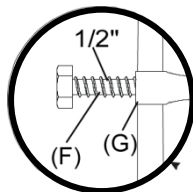


◆さらに固定ビス(2ヶ所)を確実に固定して下さい。



◆壁の種類によって固定方法を選択してください。

図では背面に補強の木製棧をいれて
いますがコンクリート壁の場合には
ディスプレイと本製品の合計重量に
5倍以上の安全係数をかけた耐荷重
に耐えられることを想定したうえで
アンカーによる施工をお願いします。

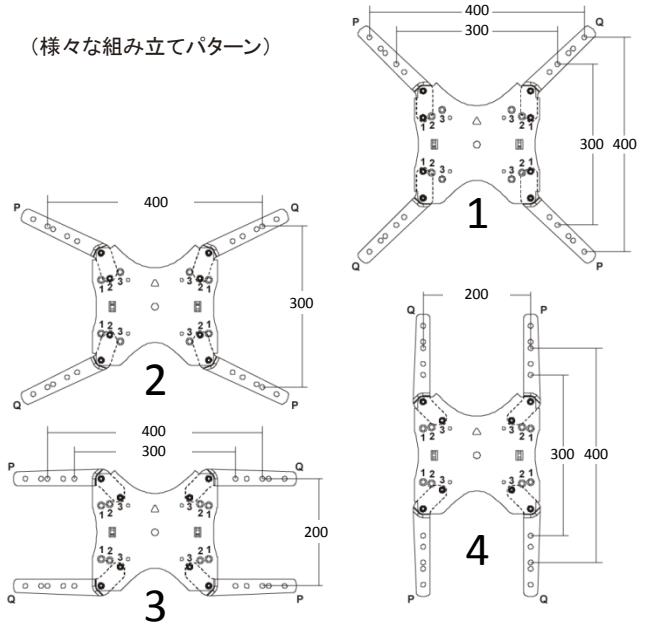


◆フェイスプレートの組み立て

ディスプレイ背面に取り付けられるフェイスプレートは以下の
VESA規格の寸法に合わせて、自由に組み立てできます。

フェイスプレートと左右のブラケットの組み合わせ方で、様々な
形を作ることが可能となっています。

(様々な組み立てパターン)



1

300 × 300

ディスプレイ 縦設置・横設置

400 × 400

ディスプレイ 縦設置・横設置

2

400 × 300

ディスプレイ 横設置

3

400 × 200

ディスプレイ 横設置

300 × 200

ディスプレイ 横設置

4

200 × 300

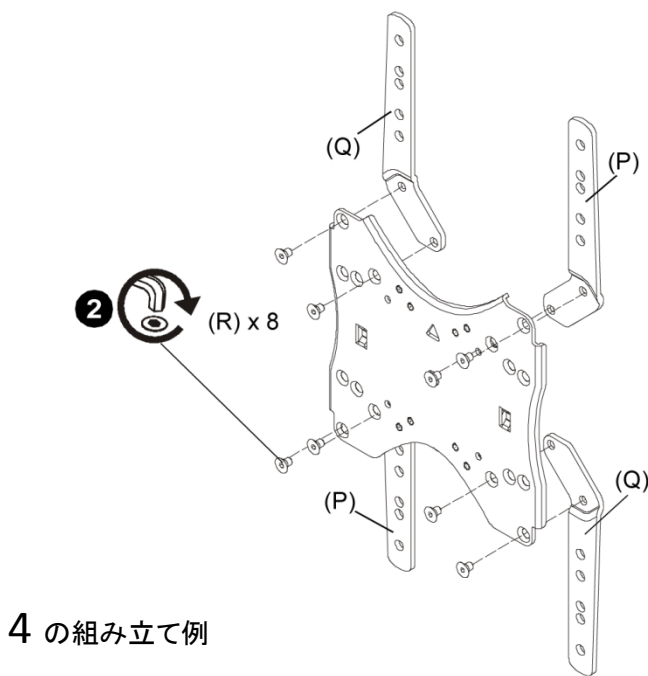
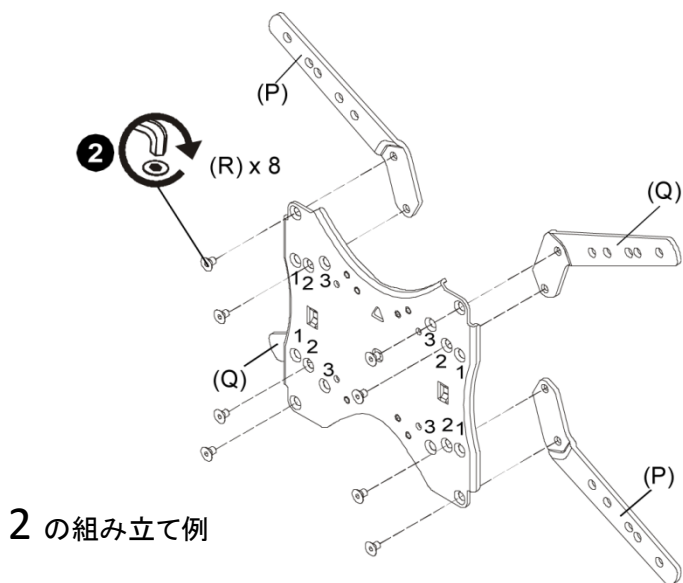
ディスプレイ 縦設置

200 × 400

ディスプレイ 縦設置

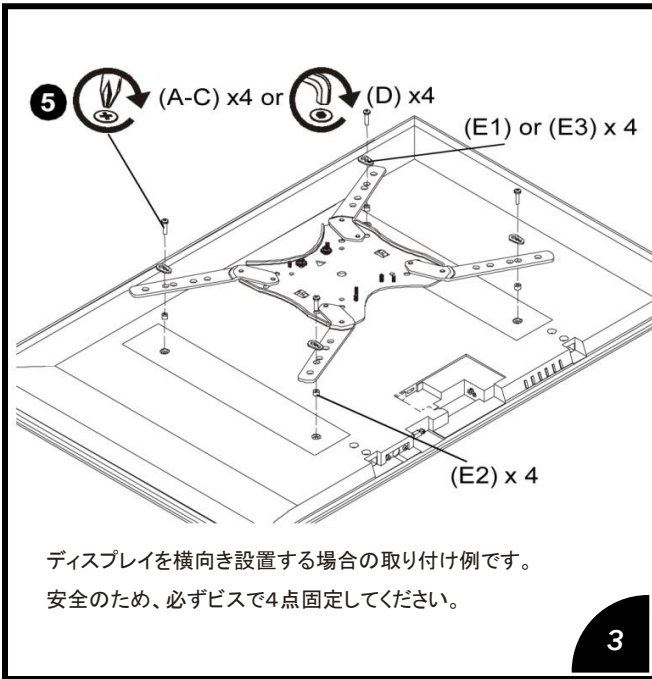
◆フェイスプレートとブラケットの組み合わせ

指定のビスを使用して4つのブラケットをフェイスプレートに取り付けてください。



上記 4 の場合は(Q)と(P)の各ブラケットを裏返して使用します。

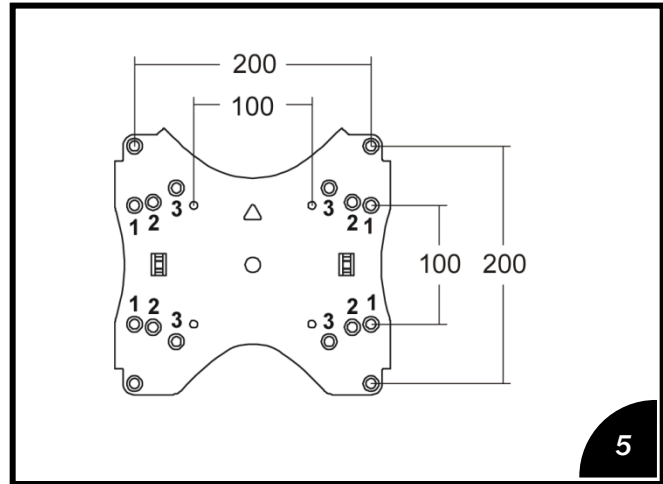
◆ディスプレイの取り付け



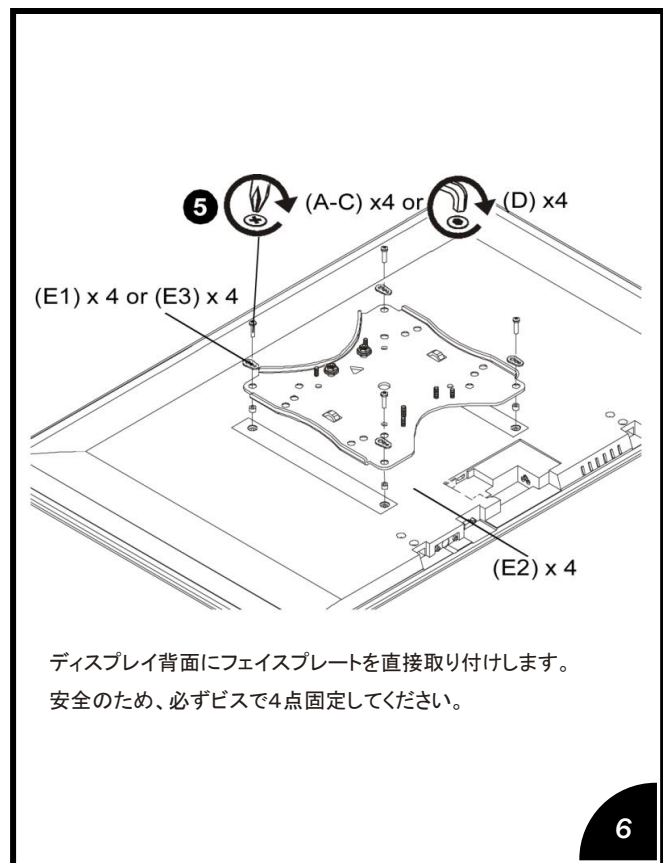
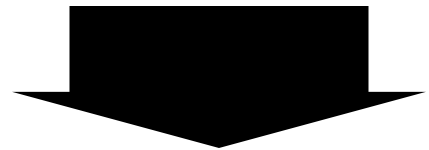
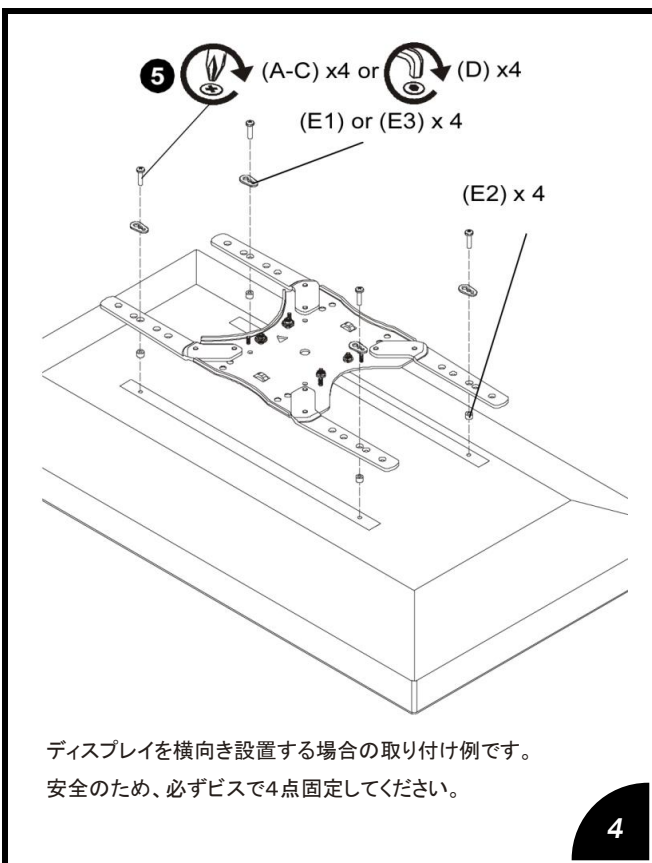
◆ディスプレイの取り付け

フェイスプレートに4本のブラケットを組み合わせる方法ではなくフェイスプレートをディスプレイ背面に直接取り付けるという方法もあります。

VESA規格 100×100mm 200×200mm 100×200 200×100の4パターンに該当するディスプレイであれば、フェイスプレートをディスプレイ背面に直接取り付けることができます。

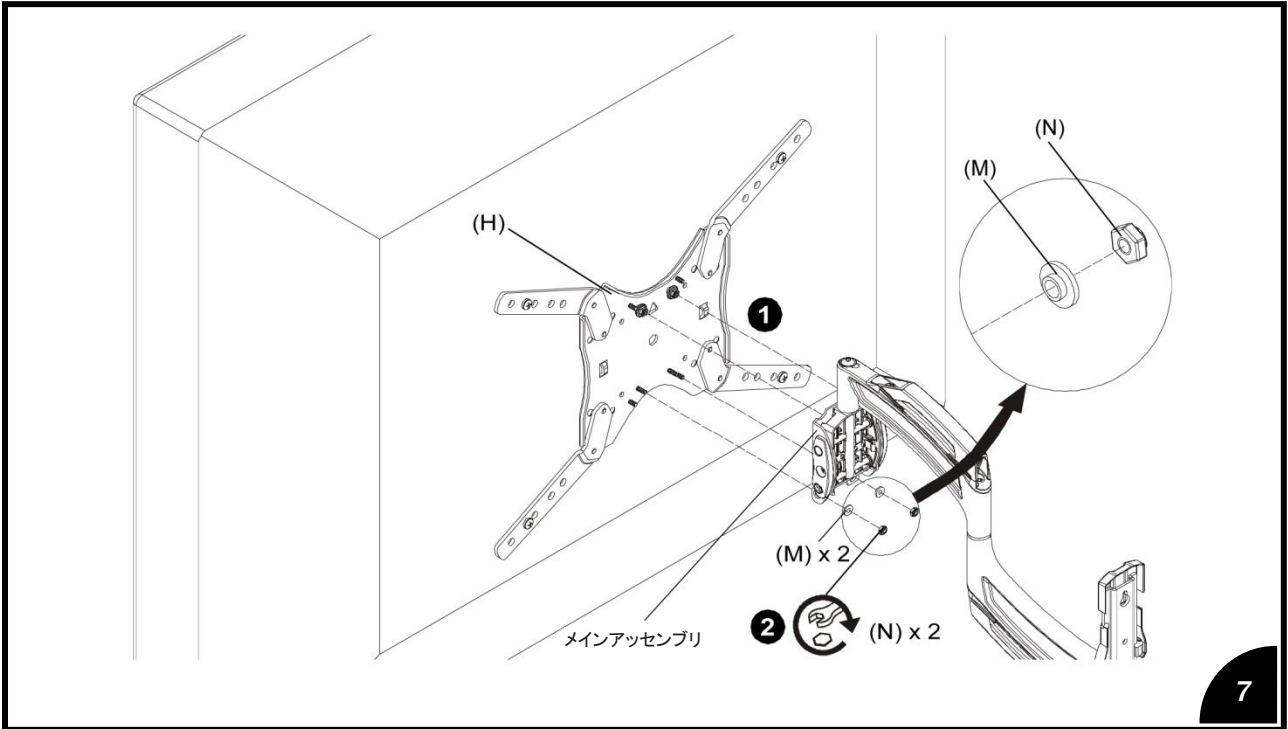


◆ディスプレイの取り付け

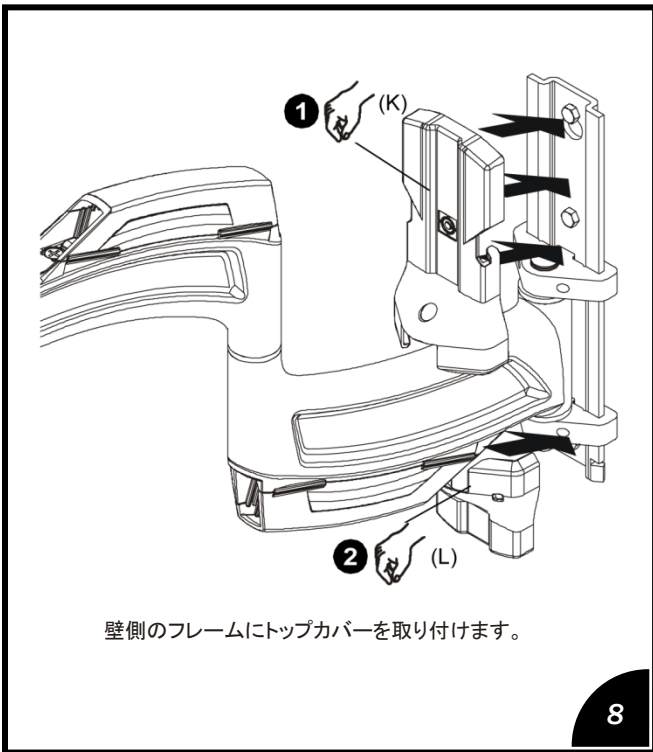


◆ディスプレイの取り付け

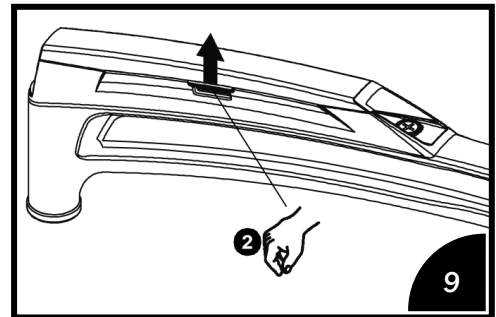
下記の要領で、ディスプレイとメインアッセンブリを取り付けます。



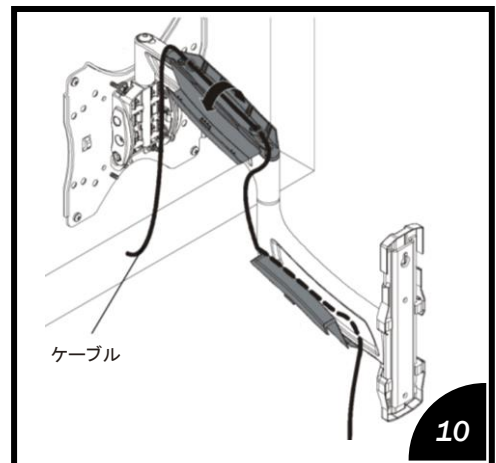
◆化粧カバーの取り付け



◆スイングアームについているケーブルカバーはカバーの中心にあるタブを引っ張ることで、開けることができます。

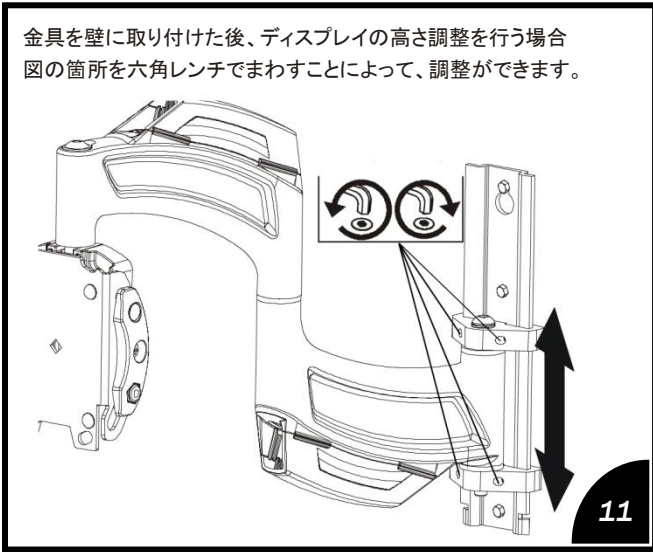


◆アーム部分には全てケーブルカバーがついていますので配線用ケーブルは全てその中に隠すことが可能です。



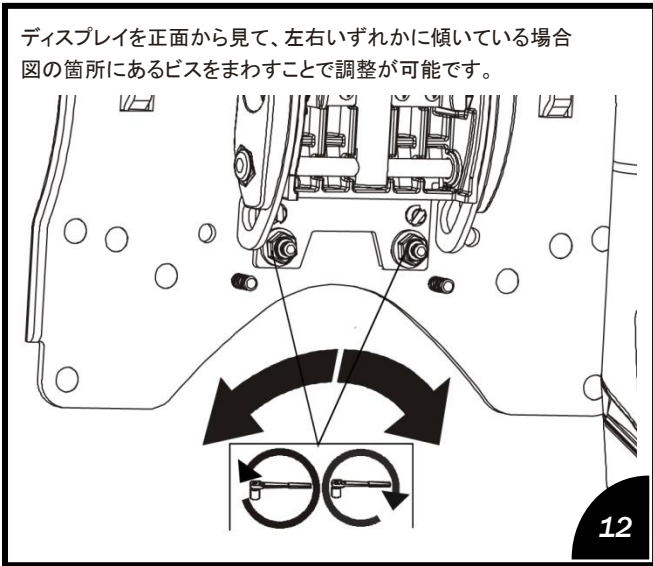
◆ディスプレイ高さ調整

金具を壁に取り付けた後、ディスプレイの高さ調整を行う場合
図の箇所を六角レンチでまわすことによって、調整ができます。



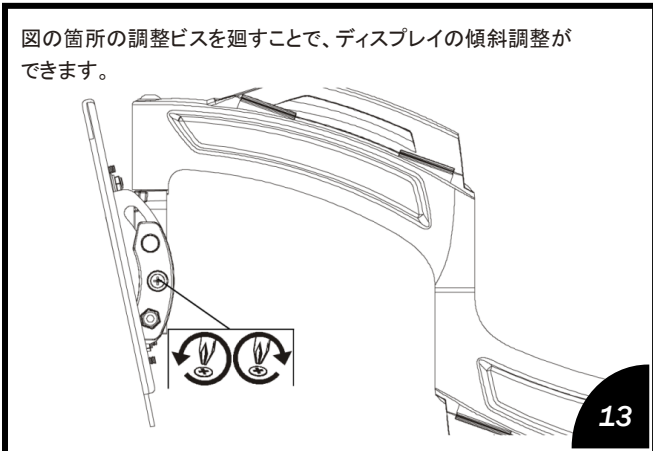
◆左右水平傾き調整

ディスプレイを正面から見て、左右いずれかに傾いている場合
図の箇所にあるビスをまわすことで調整が可能です。



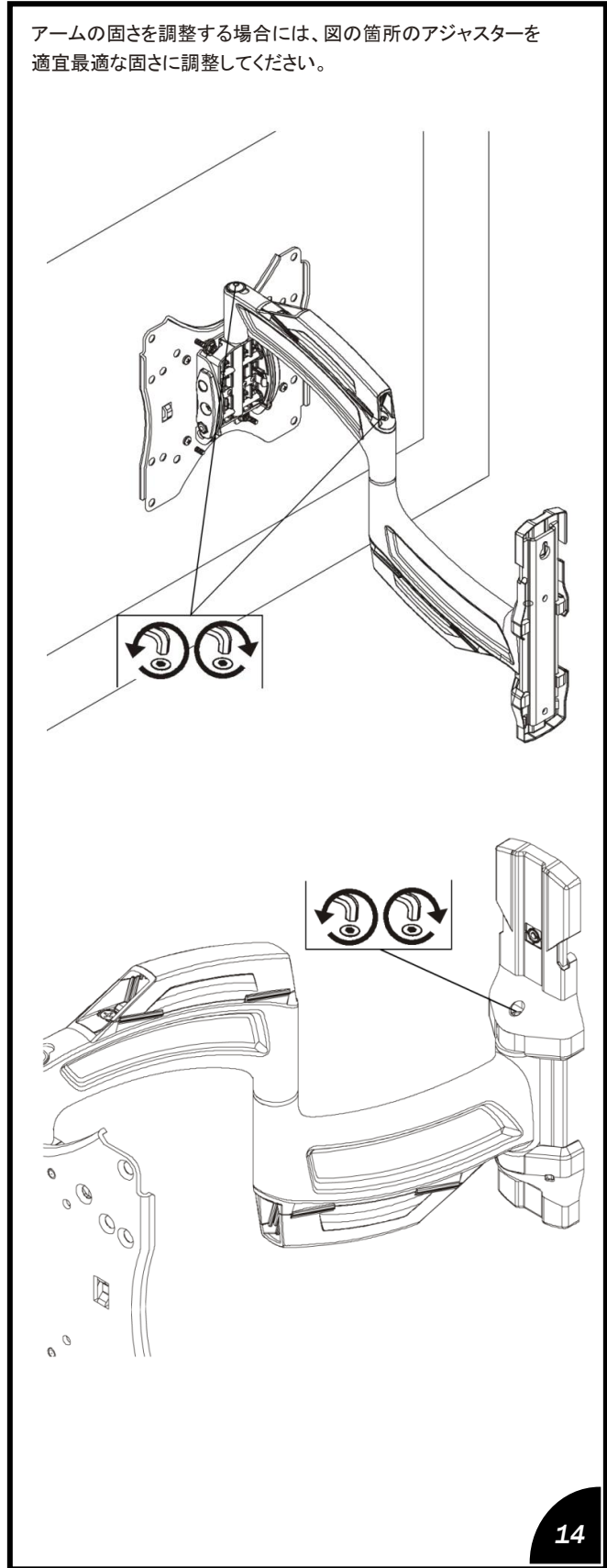
◆チルトフリクション調整

図の箇所の調整ビスを廻すことで、ディスプレイの傾斜調整が
できます。



◆アーム固さ調整

アームの固さを調整する場合には、図の箇所のアジャスターを
適宜最適な固さに調整してください。



Memo

<http://www.avc.co.jp/>

チーフ正規輸入総代理店

 **株式会社
映像センター**
AUDIO VISUAL COMMUNICATIONS LTD.

■システム販売事業部

<首都圏> 〒135-0063 東京都江東区有明3-7-18 有明セントラルタワー8階 TEL. 03-3527-8660 FAX. 03-3527-8666
<関西> 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-18-25 TEL. 06-6836-7827 FAX. 06-6310-6144

■本社オフィス 〒135-0063 東京都江東区有明3-7-18 有明セントラルタワー8階 TEL. 03-3527-8571(代) FAX. 03-3527-8580
■大阪オフィス 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-18-25 TEL. 06-6836-7591(代) FAX. 06-6310-6144
■名古屋オフィス 〒460-0012 愛知県名古屋市中区千代田3-31-25 TEL. 052-322-5791(代) FAX. 052-322-0219

【関連会社】■広州愛惟希会展服務有限公司 (広州・北京・上海) ■HONG KONG AVC LIMITED (香港)